

<回るシンフォニーの楽譜に登場する楽器の紹介>

No.	楽器	説明
1	ギロ 	中をくりぬいた木の外側に入れられた刻みや、デコボコを棒でこする民族楽器です。ブラジルなどラテン音楽でよく使われます。いろいろな大きさや形のものがあり、こすり方でさまざまなリズムを演奏できます。
2	カエル型のギロ 	カエルの形をした民族楽器です。ベトナムではモーコックと呼ばれています。くわえている棒で背中中のデコボコをこすると、カエルの鳴き声のようにコロコロと音がします。デコボコをこすって音を出すのでギロの一種とも言えます。
3	カシシ 	木で編んだカゴの中に石や豆など硬いものを入れて振ると音がする楽器です。身近なカゴを利用して自作するのも楽しいのではないのでしょうか。
4	サンダードラム 	ゴロゴロと雷のような音がする不思議な楽器です。筒の内側の下に太鼓のような膜が張ってあります。この膜にバネが取り付けられていて、バネを下に垂らして筒を振ると、バネの振動が膜を震わせて筒の中で音が共鳴します。
5	ドレミパイプ 	プラスチックの管状の打楽器です。一本一本長さが違い、叩くと異なった高さの音が出るようになっています。ブームワッカーとも呼ばれます。
6	バードコール 	木の筒の中に金属の棒を差し込んだ楽器です。棒をかるくねじると、摩擦により鳥の鳴き声のような音が出ます。市販もされていますが、木の枝とボルトネジで自作することもできます。
7	ガムランの鉄琴 	インドネシアの民族音楽「ガムラン」で使用される鉄琴です。木製のバチで音板を叩いて音を鳴らします。おもちゃのように小さく、ミニ・ガムランとも呼ばれています。
8	ラチェット 	歯車と薄い木の板で構成される楽器。ハンドルを回すと歯車が動き、木の板をはじいて音が出ます。ハンドルを速く回すとけたたましい音が、ゆっくり回すとカタカタと怪しい音が鳴ります。
9	レインスティック 	傾けると雨のような音がする棒状の楽器。南米やアフリカが起源の楽器です。両端をふさいだ中空の管の中に種や豆、小石など硬い粒状のものが入れてあり、棒の内側にはサボテンの針などがたくさん突き出ています。
10	ハンドドラム 	叩き方や叩く場所でいろいろな表現ができます。いろんな形や大きさのものが世界中にあり、大きくて低い音がするものや小さくて高い音がするものもあります。スティックで叩いたり、手で叩いたり、音の違いを楽しみましょう。
11	スレイベル 	棒に数センチの鈴を数個から数十個とりつけた楽器。振り動かすことで音を出します。音の高さもさまざま、鳴らし方次第でいろいろな表現ができます。

<回るシンフォニーの楽譜に登場するイラストの紹介>

楽器以外にも曲のストーリーやシーンに関するイラストが描かれています。イラストを見てイメージを膨らませながら演奏をしてみましょう。

